

令和6年度 自己評価及び学校関係者評価書

令和 7 年 3 月 7 日

札幌市立 清田南小学校

1 今年度の重点目標

学校づくりテーマ 『あったか清南』～活動づくり・関係づくり・環境づくり～

2 本年度の経営方針

【学校教育目標】豊かな創造力を発揮し、思慮分別の心をもって、たくましく生きる子どもの育成
 【目指す子ども像】～かしこく やさしく たくましく～ かしこい子 やさしい子 たくましい子
 【目指す学校像】子ども一人一人が「自分が大切にされている」と実感できる学校

3 自己評価結果に対する学校関係者評価

分野	重点項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
			達成状況	改善方策	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
目指す子ども像	かしこく やさしく たくましく	学校教育目標を達成するような活動を構成することができたか	B	「挑戦・探究」「自立・自律」「主体性」を大切にしながら活動づくり、「安心」して過ごせる関係づくり、「安全」が実感できる環境づくりを目指したが、まだ途上である。職員一丸となって取組を進める。	A	A
学校関係者評価委員会による意見		<ul style="list-style-type: none"> ・相手に対する優しさが育ってほしい。 ・地域性がある中で教育目標の達成には時間を要すると思われます。根気よく取組の継続を期待している。 ・積極的に挨拶や感謝の言葉を伝える児童が多く、教職員が率先して手本を示していると感じる。 ・教職員が一丸となって子どもたちの生活を充実させるよう取り組んでいる姿が見られる。 				
人間尊重の教育	子どもの「～したい」を大切に 自他の尊重と規範意識 進んで運動したくなる環境	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の教育的ニーズに合わせた学習や活動の場は適切に設けられたか ・一人一人が大切にされていると感じ、「あったか清南」を作る行動ができたか ・個別に支援が必要な児童のための体制づくり・サポートができていたか 	A	今年度、学びのサポーターの継続指導や相談支援パートナーの導入、スクールカウンセラーの拡充などにより、児童に寄り添った指導を充実することができた。今後、さらに個別の指導体制の充実と実態把握と情報共有をし、一人一人の持ち味を生かすことができるような関わりを進める。また、日常の観察や定期的な情報共有の場、そしてシャボテンログの活用により児童の状況を的確かつ迅速に把握し、いじめを防止する対策を充実する。	A	A
「学ぶ力」の育成	授業力向上 対話的協働的学び 交流および共同学習 個別最適な学びを実現する環境	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的に学習に取り組んでいたか ・基礎的・基本的な知識及び技能の習得は向上したか ・思考力・判断力・表現力には伸びは見られたか ・進んで仲間と関わり合い、考えを深めたか ・Chromebook等ICTを進んで活用したか 	B	全校の教職員が一丸となって授業改善の取り組んだが、学力の定着に課題が残っている。そのため、子どもの「～したい」という主体性を引き出し意欲を育てるとともに算チャレなどの学習機会を通して基礎的基本的な知識技能の習得を行う。また、ICT機器の日常的使用を進め、課題を解決する道具の一つとして活用できる力と機会を充実する。	A	A
「豊かな心」の育成	支持的風土の中で築かれる信頼関係 異学年交流 自立協調思いやり感謝	<ul style="list-style-type: none"> ・友達や異学年の仲間と関わり合ったりふれ合ったりする姿が見られたか ・規範意識をもって過ごしたか ・学級・学年・学校の活動に進んで取り組む姿が見られたか ・道徳心を身に付け、日常生活の中で実践しようとしたか 	B	すずかけ活動を中心として異学年交流の場を設けた。学年が違う児童の交流が充実することで、お互いの役割意識をもちながら交流することができた。学級内でも自分の役割に責任をもって取り組むことを指導し、目的意識を高めながら仕事を行った。次年度はさらに他学年の姿、特に高学年に対するあこがれと尊敬の気持ちをもち、モデルとなることでより良い活動を構築していく。	B	A
「健やかな体」の育成	自他の命を大切に し、健康を意識する活動 安全安心を守る	<ul style="list-style-type: none"> ・遊びや運動を通して体力を向上させようとしたか ・安全意識を高めようとしたか ・給食で自分の適量を残さず食べたか ・自らの健康を考え、病気やけがの予防を心がけたか 	A	今年度、体育で運動する時間を確保するよう指導の時間を工夫した。また、外遊び推奨してグラウンドにドッジボールコートを設置したりして、日常的に体を動かせるような環境づくりをした。保健指導や食指導に関して養護教諭や栄養教諭が直接指導する場を設け、児童の意識を高めることができた。次年度も継続して指導を行う。	A	A
一貫性・連続性のある教育 (小中一貫した教育)	校種の違いや児童生徒について知る、胸痛かできることを探る	パートナー校と適切な連携を図ることができたか	B	年に複数回の小中一貫した教育のグループ会議を経て校種の違いを理解しながら連携して活動の推進を図った。今年度、札幌研の春の集会では清田南小と清田中を公開授業の会場校として研修の場を設けた。次年度は今年度と同様の活動を清田緑小学校を会場として実施し、よりお互いの学校の違いを理解した上での連携を図るようにする。	A	A
学校関係者評価委員会による意見		<ul style="list-style-type: none"> ・小中の連携した取組がとてもよい。異学年の交流を通じた経験や、憧れをもつ心を育ててほしい。 ・学力の定着には家庭の協力が不可欠であり、先生方だけでなく家庭を巻き込む工夫が必要と思われる。 ・読書に対する児童の意欲が低下しているように感じる。学年が上がるにつれて読書量が減る傾向が見られ、継続した声かけや発信で改善できると思われる。 ・相談支援パートナーや学びのサポーターの制度の導入により、子どもが安心して学べる機会が増えたと感じる。 ・ICTの活用により、心配事や不安に寄り添う大人のつながりをもつことができたと感じた。 				

学校独自に 設定する分野	【チーム清南】 チームワーク 担当を中心に全員で作り上げる意識をもつこと、学年間、校務分掌間の連携をとって進めることができたか 情報共有 連絡・報告・相談が速やかに行われ、迅速・組織的にたいおうできていたか 学年担任で子どもを育てる意識、学校課題を学年で解決する体制をもてたか	A	職員同士でお互いの持ち味を尊重しながらそれぞれの役割を意識しながら主体的な業務の推進が見られた。次年度もより主体的な業務が推進できるよう各自が持っている情報を共有できるような仕組みを作り、声をかけあす雰囲気づくりを進めていく。	A	A
	【信頼される学校】 PTA・地域 PTA・地域と連携して活動に取り組むことができたか 情報発信 保護者・地域に、様々な機会を通じて、教育方針及び必要な情報を発信できたか	B	今年度、すぐーの導入等により、学年だよりを送信したり不審者情報を流したりして保護者への情報発信がスムーズに行われるようになった。また、学校HPへの情報掲載により紙媒体ではないお知らせを行っている。次年度は情報発信を工夫し、生きた情報を提供する。今年度実質的にPTA活動が行えなかった。次年度はプロジェクトを中心に体制を整える。	A	A
学校関係者評価委員会 による意見	<p>・教員のチームワークが大変良いことが、子どもたちにも伝わりよい影響を与えていると感じる。今後も継続してほしい。</p> <p>・ICTの活用により地域保護者へのスムーズな情報提供が行われており、とても有効である。</p> <p>・PTA活動について活動の充実とともに保護者が学校に対して興味をもってもらえるような工夫が必要と感じる。</p> <p>・教育的な支援を必要とする児童への対応が教職員全員で共有できていると感じられる。今後も学校全体で様々な児童が充実した教育を受けられるような取り組みを進めてほしい。</p>				